

## 委員長談話

# —解散総選挙にあたって—

改憲策動を許さず、平和・憲法9条を守ろう！農業つぶし・農協解体攻撃を許さず、食料・農業・地域を守ろう！消費税増税はただちに中止を！

みんなで投票にいて要求を実現しよう！

全農協労連

中央執行委員長 砂山 太一

## 全国の仲間みなさん

安倍首相は、9月25日に行われた記者会見において、衆議院解散を臨時国会召集日である9月28日に国会の冒頭に行うことを正式に表明しました。総選挙は、10月10日公示、22日投票で行われる見通しです。

安倍政権は、自民党、公明党の政権与党と維新の会などの補完勢力とともに、国会の「数の力」で、これまで幾度となく国民多数の声と世論を踏みにじり「特定秘密保護法」、「労働者派遣法改正」、「戦争法」、「TPP承認・関連法」、「共謀罪」などを強行成立させてきました。そして、安倍首相は「憲法9条の改憲」を明言し、来年6月に発議が狙われています。

まさに、戦後レジームからの脱却を掲げ、「戦争できる国づくり」、「世界で一番企業が活躍する国づくり」に向けた安倍政権の暴走政治が具体化したものばかりです。

衆議院の解散にあたり安倍首相は「国難突破解散だ」と述べています。しかし、その中身は2019年10月の「消費税10%への増税」を前提に、その使い道を変更し教育分野に充てると強調し、国民に増税を強いる大増税を宣言したものです。この解散は、「森友学園」「加計学園」をめぐる疑惑について、安倍首相自らの疑惑が国会で追及されることを恐れ、隠すための解散であることは明らかです。

そして、何より「TPP反対」、「農業・農協改革反対」、「米価大暴落の緊急対策」、「農業者戸別所得補償制度の復活」、「消費増税中止」、「増税ではなく賃上げによる景気回復」、「労働法制改悪反対」、「憲法改悪反対」、「原発再稼働中止」などの要求を掲げ、「暴走政治を許さない」国民共同の運動に団結・連帯し、職場と地域のたたかひを通じて、安倍政権を解散に追い詰めたものです。

迫る総選挙は、私たちの要求実現に向け、改憲策動と暴走政治をやめさせるチャンスです。

私たちの要求を実現する上で、政党と候補者をしっかりと見極め、主権者として「みんなで投票にいこう」を合言葉に、総選挙に取り組みましょう。